

新型コロナウイルス感染症の感染予防策について

◆外来での感染対策

- ・受診されるすべての患者さん付添いの方に対して、入館時のマスク着用や手指消毒を徹底しています。
- ・総合案内に発熱相談コーナーを設け随時相談を受付、発熱や呼吸器症状がある患者さんには、一般診療とは別エリアで診察を行い、感染が疑われる方と導線分離しています。
- ・各診療科受付に、透明パーティションを設けて飛沫防止を行っています。患者さん、お一人お一人に問診・検温を実施しています。
- ・新型コロナウイルス感染症を疑う場合には、随時、院内で抗原（定量）検査を行っています。
- ・待合での間隔が密になることがないように、椅子の間隔を広くとっています。
- ・受付や診察室では、定期的に接触頻度が高い場所の消毒や清掃を実施しています。

◆入院病棟での感染対策

- ・病棟への持込み防止のため、面会制限を実施しています。
- ・入院予約時の流行地への滞在歴や接触歴を確認し、該当する方には、医師の判断を踏まえ2週間の入院延期をお願いしています。
- ・発熱や呼吸器症状がある救急入院の場合は、一旦隔離区域で滞在いただき、抗原検査陰性を確認しています。

◆職員感染対策

- ・院内では、常にマスク着用を徹底するよう指導しています。
- ・救急外来等に防護具（N95 マスクなど）を配備しており、標準予防策（手指衛生など）を徹底しています。
- ・流行地域への移動を禁止し、学会や出張時で該当地域に滞在した場合は、自主的な健康監視を指導し、勤務前に抗原検査で陰性を確認しています。
- ・各自が健康管理に努め、体調不良時には、出勤しないこととしています。